

- ◆企画名 結構かんたん！コミュ力基本の「キ」  
日 程 平成 26 年 4 月 22 日（火）  
場 所 総合学生会館凜風館 4 階 ミーティングルーム 2  
参加者数 17 名（ピア・サポータ 4 名、一般学生 13 名）  
目 的

学生相談室やほっこり相談室の利用者には、大学で友人を作るタイミングを逃した学生もいる。そのような学生を対象とし、コミュニケーションに関する講演会を行う。最終的には、参加者に自分自身のマニュアルを作ってもらい、友達作りの「最初の一歩」を踏み出せるようになるきっかけを提供することを目的とする。

#### 内 容

- ①講義「コミュニケーションについて正しく理解しよう」  
（コミュニケーションの3領域→コミュニケーションの種類→コミュニケーションのプロセス→会話のプロセスでエラーを起こさない「話す」と「聞く」のコツ）  
②ワーク「人間関係を円滑にする表現技術」  
（人間関係のきっかけをつくる「挨拶」の意味とコツ→関係作りの第一歩「自己紹介」の目的とコツ）  
③まとめ  
④アンケート記入

#### 効 果

- 企画の内容について
- ・講義とワークの両方を取り入れることで、学びながら実践することが出来た。
  - ・参加者によって「コミュ力基本の『キ』」の捉え方やレベルは異なっていたが、最も基礎的な内容にすることで、基準を低いところに合わせることが出来た。
  - ・参加者が少人数であったため、友達作りを苦手とする参加者にとっては、居心地が良かったのではないかと考えられる。
- その他
- ・学生相談室を利用している方も数名が参加されていた。
  - ・アンケート結果が概ね良好であった。

#### 改 善 点

- 企画の内容について
- ・講義が長かった。参加型のワークを通じた交流時間を増やすことで、参加者同士が友達になる機会をより上手く提供することが出来ると考えられる。
  - ・参加者によって「コミュ力基本の『キ』」の捉え方やレベルが異なり、全員が満足できたとは言い難い。

#### 感 想

KU サポーターズも参加者と同様に楽しみながら企画に参加することで、参加者間のコミュニケーションを自然に促すことができた。

参加者によって企画のレベルに対しての捉え方が異なる様子で、「この講座を受けても友達が出来ない」等の厳しいお言葉もいただいた。そのため、続編の「結構かんたん！コミュ力基本の『ホ』」については、当初予定していた内容や最終目標を変更し、レベルを少し低めに設定する方向で調整を行っている。